

豊かで安心な高齢期のために

物価高に負けない 年金引き上げを

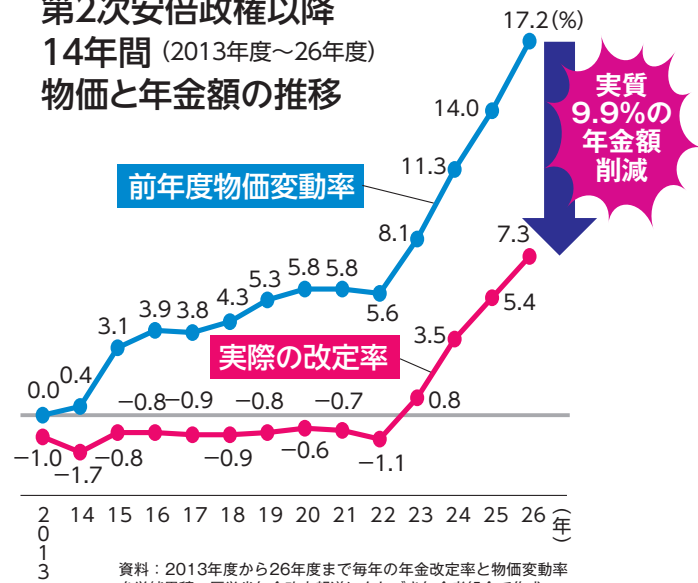


物価は52カ月連続して上昇 年金は14年間で実質9.9%減

政府は2026年度の公的年金(基礎年金)を1.9%プラス改定(厚生年金は2.0%)するとしていますが、物価上昇率3.2%から実質1.3%もの大幅減額です。これが実施されると第2次安倍政権以降14年間で9.9%の削減です。一方、介護保険料や国保料(税)など社会保険料の引き上げ、消費税の相次ぐ増税などにより、年金の実質的な価値は大きく目減りしています。

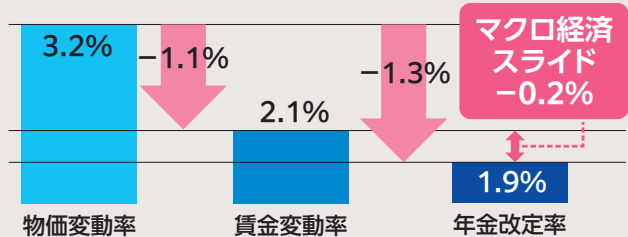
総務省発表(1月23日)の25年12月の消費者物価指数は52カ月連続の上昇で、生鮮食料品やお米は高止まりし、高齢者や年金受給者の生活は苦しさを増しています。今すぐ生活できる年金額に引き上げるべきです。

第2次安倍政権以降 14年間(2013年度~26年度) 物価と年金額の推移



今年も物価高に追いつかない! 年金減額のしくみ

基礎年金減額のしくみ (2026年度)



厚労省は、基礎年金を物価変動率(3.2%)より低い賃金変動率(2.1%)で改定し、さらにマクロ経済スライド調整率(-0.2%)を減額した、名目1.9%のプラス改定だとしています。しかし、物価からみると実質-1.3%の減額となります。

※マクロ経済スライドとは「経済」といながら、物価に直接連動しない必ず年金を下げるしくみです。

安心して暮らせる老後を 長寿を喜べる年金制度へ



国連・ILO訪問後フランス年金者組合と交流。CGT(フランス労働総同盟)本部中庭で記念撮影

日本政府は国連の社会権規約委員会や女性差別撤廃委員会から「女性の低年金改善」や「最低保障年金制度の創設」を勧告されています。条約を批准している政府は直ちに勧告を実施すべきです。

全日本年金者組合

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20 天翔大塚駅前ビル
TEL 03-5978-2751 FAX 03-5978-2777 Email:honbu@nenkinsha-u.org

あなたも
年金者組合へ

高市首相！「国民の悲鳴」聞こえませんか！

ミサイルより 社会保障の 充実を！

低年金受給者の声

月8万の年金です。食事は1日2食。服もここ7、8年同じものを着ている。

(北海道 80歳)

健康でもメガネ、補聴器、入れ歯、杖やサポーターなどお金がかかることばかり。命が尽きるか、貯金が尽きるかどっちが早いかわからない。

(京都 74歳)

月9万円足らずの年金で暮らしている。食べるだけでも大変。新聞はやめた。テレビもやめた。息子が「テレビ買ってあげる」と言ってくれるが、受信料を払う余裕もない。

(埼玉 72歳)

「一緒にお昼を食べよう」と誘われても、言い訳を探して断っているのが辛い。世話になった人が亡くなっても気が付かなかったふりをする。こうして人とのつながりを失っていく。

(青森 82歳)

年金裁判で最高裁の三浦裁判官は「年金受給者にとっては、年金額が減少するうえでこのような年金額では生活の安定を図ることは困難であることは否定できない」と低年金の実態を指摘しました。10万円未満の年金受給者は2100万人を超え、高齢者の就労者は930万人もいます。

国民年金法第1条は「憲法第25条第2項に規定する理念に基づき、健全な国民生活の維持・向上を目的とする」と明言しています。高市首相は、**軍事費の増額をやめ、社会保障や年金額引き上げに財源を使うべきです。**

304兆円もある年金積立金と 配当・利子(1年間)4兆円を年金に!

年金積立金は**304兆円**(2024年度末)を超えています。株式の配当金や債券の利子などは**1年間で約4兆7000億円**もあります。マクロ経済スライドの廃止、保険料引き下げ・給付の改善など、今すぐ実現可能です。

高市首相は219国会で「暮らしの安心」「物価上昇を上回る賃上げ」が必要だと言っています。今すぐ「生活できる年金」を実現すべきです。

